

専門分野

精神看護学（講義5単位・実習3単位）

1. 精神看護学の考え方

精神看護とは心の健康問題を持つ人に対し、個人の尊厳と権利を擁護し、自律性の回復やその人らしい生活を送れるよう支援することを基本としている。現代は様々なストレスが存在し、「こころの時代」「不安の時代」ともよばれている。このような社会の中で不安や自己の欲求との葛藤を体験しながら、心の健康を維持していくのは容易ではない。心の健康問題は社会の変化と切り離して考えられず、自殺や精神疾患が課題となっている。

心と身体は常に相互に作用しており、身体疾患に伴って心のバランスを崩す人も多い。また、人は発達上で様々なライフイベントや発達課題の獲得などの阻害により、常に危機的状況になる可能性をもっている。そのような状況を考え、心の健康問題は誰にでもおきると理解し、精神看護学の対象が自分を含めた全ての人に及んでいると理解する。また、心の健康問題を持つ人やそのケアをする人に対してのリエゾン看護チームの活動を理解したい。心の健康問題を抱えている人への援助方法を学ぶことは、全ての看護の基本である。

厚生労働省は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を政策理念とし様々な施策を行っている。近年は心の健康問題をもつ人は増加傾向にあり身近な疾患になっている。精神障害の有無や程度に関わらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう社会復帰、及びその自立と社会経済活動への参加の促進が求められる。

精神看護学では、人が人に働きかけ、そこに関わる看護師が自分自身の感情・思考を知り、そのうえで有意義な患者-看護師関係を築くコミュニケーションの方法や心の健康問題を持つ人がその人らしく生活できるような支援を学ぶ。また、日本の精神医療体制の現状を知り、各個人の精神障害に関する認識を見つめ、そこに潜む強い偏見があることを理解する。その上で心に健康問題のある人や病を持った人を一人の人として、治療や看護の介入が必要な状態として理解し、援助方法を学ぶ。

2. 目的

精神看護の基盤となる理論や知識を学習することにより、精神看護の対象を理解する。

心の健康を維持するための援助及び、心の健康問題を持つ人や家族に対する援助について学ぶ。

3. 目標

- 1) 人間の心の発達や、心の働きを理解する。
- 2) 個人と環境とのダイナミックな相互作用と、そこに生ずる健康問題がわかる。
- 3) 心の健康問題をもつ人がわかる。
- 4) 心の健康問題をもつ人の特徴を学び、必要な援助方法がわかる。
- 5) 精神看護における専門的アプローチの方法を理解する。
- 6) 地域社会における精神保健医療福祉の必要性と政策・施策を学び、心の健康問題を持つ人の社会復帰に関わる活動がわかる。

専門分野・精神看護学 授業計画

授業科目及び時間数	精神看護概論 1単位 30時間		
開講時期	2年次前期		
担当教員	式守晴子・松永深雪・勝治乃武子	実務経験	有
<p><科目のねらい> 本科目のねらいは、人を身体・精神・社会的に統合された存在として理解し、ライフサイクルにおける心の発達をふまえ、精神看護の機能と役割を学ぶこと、心の健康問題のある人を支える法律と基本的な施策を理解することである。</p> <p><到達目標> 1. 人を身体・精神・社会的に統合された存在として理解し、あらゆるライフサイクルにおける心の発達をふまえ、精神看護の機能と役割を学ぶ。 2. 心に健康問題を持つ人を支える法律と基本的な施策を理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 心とは、心の健康とは何か 1)心とは何か 2)心の健康と精神の健康	講義 (勝治)	
2回目	1. 心の発達 1)脳の仕組みと精神機能 2) 心の機能と発達 3)発達理論	講義 (勝治)	
3回目	1. 適応の意義 2. 対人関係と適応 3. 災害時地域精神保健医療	講義 (勝治)	
4回目	1. 精神看護の基本理念 2. 精神看護の機能と役割 1)精神看護の目的 2)精神看護の機能と役割 3)精神科チームにおける医療と看護	講義 (勝治)	
5回目	1. 精神保健医療の変遷と患者処遇の変遷 (欧米) ① 1)精神医療の歴史の変遷と看護 2)精神障がい者の社会的存在 3)保健医療における資源	講義 (勝治)	
6回目	1. 精神保健医療の変遷と患者処遇の変遷 (日本) ② 1)精神医療の歴史の変遷と看護 2)精神障がい者の社会的存在 3)保健医療における資源	講義 (勝治)	
7回目	1. 精神保健医療の変遷と患者処遇の変遷③ 1)社会資源の活用とマネジメント 2)患者の権利擁護(アドボカシー)	講義 (勝治)	
8回目	1. 精神保健福祉に関する法律と行政システムの実際① 1)精神保健福祉法	講義 (勝治)	
9回目	1. 精神保健福祉に関する法律と行政システムの実際② 1)障害者総合支援法 2)自殺対策基本法 3)犯罪被害者等基本法 4)障害者の雇用の促進等に関する法律 5)生活保護法	講義 (勝治)	
10回目	1. 精神保健福祉に関する法律と行政システムの実際 1)法律活用の実際	講義(勝治) グループワーク	
11回目	1. 精神科リハビリテーションと地域の精神保健	講義(式守)	
12回目	1. 家族と家族の機能	講義(式守)	
13回目	1. 家族システム理論と家族療法	講義(式守)	

14 回目	1. リエゾン精神看護 1. コンサルテーションと精神医学及び看護	講義(松永)
15 回目	終了試験	筆記試験 (勝治)
評価方法	筆記試験 100%(式守 20% 松永 10% 勝治乃武子 70%)	
受講生に 対する メッセージ	<p>近年、日本の精神科医療をとりまく状況は急速に変化しています。精神疾患・障害とその治療の歴史的な流れを理解し、心の健康問題のある人が社会の中でどのような存在として認識されてきたか、現代社会に生きる人々の社会生活を支えていけば良いか考える機会として欲しいです。</p> <p>さらに精神保健看護の知識と精神科以外の場面での患者ケア・家族ケアを統合する、リエゾン精神看護についても理解して欲しいです。</p>	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 精神看護学 1 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 精神看護学 2 医学書院	
参考書	ナーシンググラフィカ 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版	

専門分野・精神看護学 授業計画

授業科目及び時間数	心の健康問題とその治療 1単位 30時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	榛葉俊一・安藤恵・山田美季	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>本科目のねらいは、ライフサイクルにおける特徴と危機を知り、環境への適応と不適応、心の健康問題や危機的状況の要因を理解することと、主な精神障害の病態・治療・症状について学び、心の健康を維持・増進、回復するための援助を学ぶことである。</p> <p><到達目標></p> <p>1. 環境への適応と不適応、心の健康問題や危機的状況の要因を理解し、心の健康を維持・増進・回復するための援助を学ぶ。</p> <p>2. 主な精神障害の病態・治療・検査について学ぶ。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 適応の意義 2. 環境への不適応と危機的状況 ライフサイクルにおける特徴と危機①	講義(山田)	
2回目	1. 適応の意義 2. 環境への不適応と危機的状況 ライフサイクルにおける特徴と危機②	講義(山田)	
3回目	1. 適応の意義 2. 環境への不適応と危機的状況 ライフサイクルにおける特徴と危機③	講義(山田)	
4回目	1. 心理臨床検査	講義(安藤)	
5回目	1. 精神療法	講義(安藤)	
6回目	1. カウンセリングの基礎と実際	講義(安藤)	
7回目	1. 治療的コミュニケーション 1) 認知行動療法 他	講義(安藤)	
8回目	1. 主な疾患と治療 1) 統合失調症	講義(榛葉)	
9回目	1. 主な疾患と治療 1) 気分(感情)障害	講義(榛葉)	
10回目	1. 主な疾患と治療 1) 神経症及びストレス関連障害(摂食障害)	講義(榛葉)	
11回目	1. 主な疾患と治療 1) 成人の人格及び行動の障害(人格障害)	講義(榛葉)	
12回目	1. 主な疾患と治療 1) 精神作用物質による障害(アルコール性障害 他)	講義(榛葉)	
13回目	1. 主な疾患と治療 1) 器質性精神障害	講義(榛葉)	
14回目	1. 主な疾患と治療 1) 主な薬物療法 2. リハビリテーション療法	講義(榛葉)	
15回目	終了試験	筆記試験(山田)	
評価方法	筆記試験 100%(榛葉 50% 安藤 30% 山田美季 20%)		
受講生に対するメッセージ	<p>本科目は、対象理解に必要な不可欠な疾患・治療・検査を学びます。精神疾患は地域医療の主要課題である「五大疾病」のひとつで、患者数は年々増加しており身近な慢性疾患の一つといえます。精神疾患を学ぶこと、ライフサイクルにおける危機を学ぶことで、対象理解を深めるとともに、自らのメンタルヘルス対策にもつなげて欲しいです。さらに近年頻発している災害時における地域精神保健医療を学び、災害時の心のケアの必要性について考えて欲しいです。</p>		
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 精神看護学1 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 精神看護学2 医学書院</p>		
参考書	<p>学生のための精神医学 第3版 医歯薬出版</p> <p>ナーシンググラフィカ 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版</p>		

専門分野・精神看護学 授業計画

授業科目及び時間数	心の健康問題のある人の回復を支える技術 1単位 15時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	式守晴子・山田美季	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>本科目のねらいは、看護師の専門的で意図的な対人関係としての患者 - 看護者関係を理解し、振り返りの技術を身につけられることである。さらに生きる力と強さに着目した援助、地域における精神看護の学習を通して患者の回復を促進する援助を学ぶことである。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対人関係の理論(ペプロウ・オーランド・ウィーデンバック)の理解ができる。 2. 専門的コミュニケーションを理解し、振り返りの技術を身につける。 3. 地域における精神看護の必要性・援助の理解ができる。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対人関係の理論 <ol style="list-style-type: none"> 1) ペプロウ 2) オーランド 3) ウィーデンバック 2. 対人関係の振り返りの技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 再構成の記入方法の理解 	講義(山田)	
2回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの基本 	講義(山田) グループワーク	
3回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 治療的コミュニケーション 	講義(山田) グループワーク	
4回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 援助関係の構築 <ol style="list-style-type: none"> 1) 援助関係の基礎 2) 患者 - 看護師関係 	講義(山田)	
5回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生きる力と強さに着目した援助 <ol style="list-style-type: none"> 1) ストレングス 2) リカバリ(回復) <ol style="list-style-type: none"> (1) SST (2) 認知行動療法 	講義(式守)	
6回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における精神看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 心理教育 2) 地域生活に向けての援助(服薬の指導) 3) 地域で生活するための原則 4) 地域生活を支える看護の実際 	講義(式守)	
7回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対人関係の振り返りの技術(再構成) 	講義(山田) 演習	
8回目	終了試験	筆記試験(山田)	
評価方法	筆記試験 90%(式守 20% 山田美季 70%) 課題提出(再構成)10%		
受講生に対するメッセージ	<p>基礎看護学で学んだコミュニケーションを想起しながら、さらに看護者にとって必要な治療的コミュニケーションを身につけられるよう授業に取り組んで下さい。</p> <p>再構成を通して、改めて自己のコミュニケーションの特性を振り返る機会として欲しいです。また、ここでは「ストレングス」「リカバリ」についても学びます。これは当事者のもつポジティブな可能性に注目する看護のありかたです。精神疾患をもつ人々の問題だけではなく、ポジティブな面にも目を向けられるようにして行って下さい。</p>		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 精神看護学1 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 精神看護学2 医学書院		
参考書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 医学書院 感性を磨く技法Ⅰ 看護場面の再構成 日本看護協会出版会		

専門分野・精神看護学 授業計画

授業科目及び時間数	心の健康問題のある人への看護 2単位 30時間		
開講時期	3年次 前期		
担当教員	緒方康代・澤野翔・山田美季	実務経験	有
<p><科目のねらい> 本科目のねらいは、心の健康問題のある人の様々な症状を理解し、それによって対象の生活が阻害されていることに気づくこと、対象のセルフケア能力を活かした看護のかかわり、援助の方法を学ぶことである。 <到達目標> 1. 心の健康問題を持つ人の様々な症状を理解し、それによって対象の生活が阻害されていることに気づく。 2. 対象のセルフケア能力を活かした看護の関わり、援助の方法を学ぶ。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 精神看護の基本理念	講義(緒方)	
2回目	1. 精神障害を持つ対象への看護の特徴	講義(澤野)	
3回目	1. 主な症状と治療過程に対する看護	講義(緒方)	
4回目	1. 患者・家族の理解と看護	講義(澤野)	
5回目	1. 日常生活行動のセルフケアレベル	講義(緒方)	
6回目	1. 日常生活行動への援助方法 1) セルフケアへの援助 2) 安全管理(セーフティマネジメント) 2. リスクマネジメント	講義(澤野)	
7回目	1. 看護の展開方法 1) オレム - アンダーウッド - 長谷川式の理解 2) 患者と家族の基本情報(1-1 1-2 号紙)	講義(山田)	
8回目	1. 看護の展開方法 1) 患者と家族の基本情報の振り返り	講義(山田) 個人学習	
9回目	1. 看護の展開方法 1) 発達段階の特徴(2-1 号紙) (1) 発達段階の特徴 (2) 生育歴からみた患者の特性	講義(山田) 個人学習	
10回目	1. 看護の展開方法 1) 疾患の特性(2-2 号紙)	講義(山田) 個人学習	
11回目	1. 看護の展開方法 1) セルフケアレベル(3-1 号紙)	講義(山田) 個人学習	
12回目	1. 看護の展開方法 1) セルフケアレベル(3-2 号紙)	講義(山田) 個人学習	
13回目	1. 看護の展開方法 1) 患者のイメージ像(4-1 号紙) 2) 患者の全体像(4-2 号紙)	講義(山田) 個人学習	
14回目	1. 看護の展開方法 1) 患者のイメージ像・全体像の振り返り	講義(山田) グループワーク	
15回目	終了試験 まとめ	筆記試験 (山田)	
評価方法	筆記試験 50%(緒方・澤野 50%) 事例展開 50%		
受講生に対するメッセージ	本科目では、心の健康問題を持つ人への看護の実際を学び、事例に沿って紙面上で看護を展開します。精神看護学実習で活用できるよう、積極的に授業に取り組んで下さい。		
テキスト	精神看護学 第2版 学生 - 患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版 系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 精神看護学1 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 精神看護学2 医学書院		
参考書	ナーシンググラフィカ 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版 学生のための精神医学 第3版 医歯薬出版		

